



# おかよう

発行元：岡山県児童養護施設等協議会「職員関連事業部会」

第5号 平成26年8月31日発行

## 会長あいさつ



会長：高橋 昌文

9月8日から第11回西日本児童養護施設職員セミナー岡山大会が開催されます。それぞれに多忙な中、各施設から大勢の職員がこの日の為に準備を進めてきました。全国的な小規模化への流れの中で児童養護施設の在り方が問われている最中ですが、そういった変革の時期に、岡山県でこういった大会が実施されるのは、非常に大きな意義があると思います。今後変革が進んで行ったとしても、社会的養護が必要な子どもたちが健やかに成長できるよう支援していくという、我々に求められる役割の根底が変わることはありません。だからこそ、「今、開こう子どもたちの未来」～晴れの国おかやまから～という副題の示すように、岡山から新しい時代の児童養護施設の在り方について発信していけるよう一丸となって大会に臨んでいきたい所存です。

## 平成26年度 専門部会活動計画

### 制度政策部会

本年度の活動計画は大別3項目とする。第一は、第11回西日本児童養護施設職員セミナー岡山大会の計画と開催である。長年にわたり厚生省等の主催により開かれていた東西児童養護施設職員研修会が10年前に廃止となった時、西日本のブロック長が合い寄り今こそ職員の研修は重要と認識し、自分たちの力で開催しようと始めた研修会で是非とも成功させなければならない。第二は施設の小規模化と家庭的養護の推進についてである。これは国を挙げての事業であるが、今日は地方分権の時代、北海道から沖縄までが金太郎飴のように同一の社会的養護施策でよいのかと疑問に感じている。いずれにしても行政（県と岡山市）と十分にコンセンサスをとるよう進めていく。第三は県・市への予算陳情及び政策提言の実施である。国・県・市の議員等との懇談会等を通じて施設の実態を訴えていく事等を推進する。

### 児童関連事業部会

昨年のはん山キャンプは子どもたちに大好評でした。ご飯も美味しく炊けて、星がとてもきれいでした。今年は共同募金会からの助成をいただき、乗馬体験や絞った乳を使った調理体験もできればと計画しています。その後には中国地区の児童球技大会が倉敷で開催されることから準備に追われています。卓球大会と児童交流事業も含め子どもたちに感動を与えることができるよう部員一同頑張っています。

### 職員関連事業部会

職員関連事業部会では、新任職員研修会、中堅職員研修会、県外施設視察研修、兵庫県との合同研修、食育研修、成徳学校宿泊研修、実践発表等の多くの研修の企画運営のみならず広報誌「おかよう」作成、オレンジリボンキャンペーンへの協力、職員野球・バレーのとりまとめ等にも尽力しています。各施設にて主軸を担うべく部員達が、多忙な日常の業務の傍らそれぞれが担当となり、積極的にアイデアを出しながら年々よりよいものをとの意気込みで取り組んでいます。新任職員就職数ヶ月後のフォローアップ懇親会もその一つです。先輩職員、他施設同期職員との交流の中で互いに語り、思いを分かち合い、職員としての自覚を新たにします。

岡養の一員として自ら考え行動できるような職員を育成すべく、今後も取り組んで参ります。

### 心理部会

今年度心理部会では、各自施設での心理の取組について、隔月で情報交換や意見交換を行います。心理職の多くは一人職場で、経験年数や業務の入り方、心理として期待されていることも様々です。心理職として何をどう取り組めばよいのか？ 必要なスキルを得るためには？ 心理職としての立ち位置は？ 関係機関との連携は？ 等々、心理職として、各自の取組を忌憚なく話し合うことで、現状から見えてくること、別の視点からの気づきなどにより、心理職として次のステップに進むことができることを期待しています。

また今年度1回、外部講師をお願いし、「コモンセンスペアレンティング（CSP）」について、心理、生活にかかわる職員の研修も予定しています。



# 平成26年度 岡山県児童養護施設等協議会 施設長会名簿

氏名	施設名	備考	氏名	施設名	備考
三宅 嗣朗	岡山市善隣館		吉村 惣子	津山二葉園	
則武 直美	岡山聖園子供の家	副会長	田邊 弘	玉島学園	
高月 和紘	若松園		山本 兼士	天心寮	
叶原 土筆	南野育成園 理事長	顧問	小出 叡	みのり園	監事
樋口 俊司	南野育成園		高橋 昌文	悲眼院	会長
梅里 伸正	新天地育児院		平岡 文恵	旭川乳児院	
松田浩一郎	わかば園	監事	黒田みき子	津島児童学院	
岸本 延子	立正青葉学園		田野洋一郎	岡山県立成徳学校	副会長

## 平成26年度 専門部会メンバー紹介

### 制度政策部会

	氏名	施設名	氏名	施設名
部長	高月 和紘	若松園	叶原 土筆	南野育成園
	高橋 昌文	悲眼院	平岡 文恵	旭川乳児院
副部長	則武 直美	岡山聖園子供の家	田野洋一郎	岡山県立成徳学校
	樋口 俊司	南野育成園		

### 職員関連事業部会

	氏名	施設名	氏名	施設名
部長	松田浩一郎	わかば園	平井 聡子	若松園
	小出 叡	みのり園	今井 修	南野育成園
	吉村 惣子	津山二葉園	佐藤 真貴	南野育成園
	山本 兼士	天心寮	津下由香里	わかば園
	田邊 弘	玉島学園	常藤 真美	わかば園
オブザーバー	則武 直美	岡山聖園子供の家	上田 一宣	玉島学園
副部長	津嶋 悟	若松園	多賀めぐみ	旭川乳児院
副部長	溜谷 潔昭	みのり園	柳田 佳輝	津島児童学院
	高島 啓巳	岡山聖園子供の家	三村 和久	岡山県立成徳学校

### 児童関連事業部会

	氏名	施設名	氏名	施設名
部長	三宅 嗣朗	岡山市善隣館	神田智代子	立正青葉学園
	梅里 伸正	新天地育児院	井上 裕子	津山二葉園
	岸本 延子	立正青葉学園	時岡 良太	玉島学園
副部長	野中 美枝	新天地育児院	田中 尋一	天心寮
	高島 和真	岡山市善隣館	田淵 勲	悲眼院
	宮部 圭子	岡山聖園子供の家		

### 心理部会

	氏名	施設名	氏名	施設名
部長	黒田みき子	津島児童学院	寺園 紘子	玉島学園
	友光恵理子	岡山市善隣館	奥山 貴子	みのり園
	山本 翼	岡山聖園子供の家	清水 真奈	悲眼院
	長尾 祥子	若松園	山田 恵美	旭川乳児院
副部長	佐藤 真貴	南野育成園	土屋 磨由	津島児童学院
	恒弘 典子	新天地育児院	松坂竜之介	岡山県立成徳学校

# 職員関連事業部会 事業報告

## ○平成25年度兵庫県児童養護施設連絡協議会・岡山県児童養護施設等協議会合同研修会(岡山県児童養護施設等協議会県外施設視察を兼ねる)○

兵庫県淡路市、津名ハイツを主会場に兵庫県、岡山県合同研修会が平成26年1月28日と29日の2日間の日程で開催されました。

初日は吉田兵庫県児童養護施設連絡協議会会長による、児童養護施設の将来像や児童福祉の現状についてのお話があり、支援体制の小規模化や職員の資質向上等多岐にわたって多くのことを考えるきっかけをいただくことができました。

各施設の現状等の情報交換も今後の取り組みについて参考になるヒントが随所がありました。

2日目は、淡路市内にある児童養護施設聖智学園さんの視察をさせていただきました。

随所に新しい試みを斬新に取り入れられた、建物の構造や、地域小規模児童養護施設の運営など、特色を生かした取り組みを直接見る事ができたことは最大の収穫でした。

平成26年度は岡山県での開催です、参加者が再開を約束して、2日間の日程を終えることができました。

兵庫県スタッフの皆様、聖智学園の皆様に改めて感謝申し上げます。

## ○食育研修○

平成26年2月13日(木)岡山県児童養護施設等協議会職員研修会(食育)が岡山聖園子供の家で行われました。

過去3回は主に情報交換を中心とした内容でしたが、今回は事前アンケートで関心の高かった2つのテーマ「災害時の『食』に関する取り組み」と「『食』に関する自立支援」について実践発表や意見交換を行いました。

災害時の取り組みでは、炊き出し実施により見えた具体的な課題は、炊き出し未実施の施設にとっても大いに参考になるものでした。

また、「食」に関する自立支援については、議論を深めるには時間が足りませんでしたが、各施設での実践の紹介は、参加者がそれぞれの取り組みを振り返るよい機会となりました。

そして、恒例の給食試食では、岡山聖園子供の家の子どもたちの人気メニューである「煮込みハンバーグ・かぼちゃのポタージュ・サラダ」が用意され、おいしい食事ですます会話弾み、さらに交流を深めることができました。

## ○【平成25年度 岡養実践発表会】○

平成26年2月28日(金)、『第26回岡山県児童養護施設等職員実践発表会』が岡山県立成徳学校を会場に開催されました。

以下のような題で3施設の職員から発表がなされ、それぞれの発題に対する質疑応答も予定時間を超過するほど活発に行われました。

- 1、「軽度知的と発達障害を抱える児童への対応」 わかば園 伊賀久美
- 2、「ある施設変更高校生への支援」 南野育成園 西本洋輔
- 3、「家庭的であること」 岡山県立成徳学校 難波歩

また、実践発表終了後には、会場となった成徳学校において建て替え工事が終了したばかりの新寮見学をさせていただきました、その後岡山県内の社会的養護施設職員と児童相談所職員との情報交換会を開催し、参加者同士の交流を図りました。

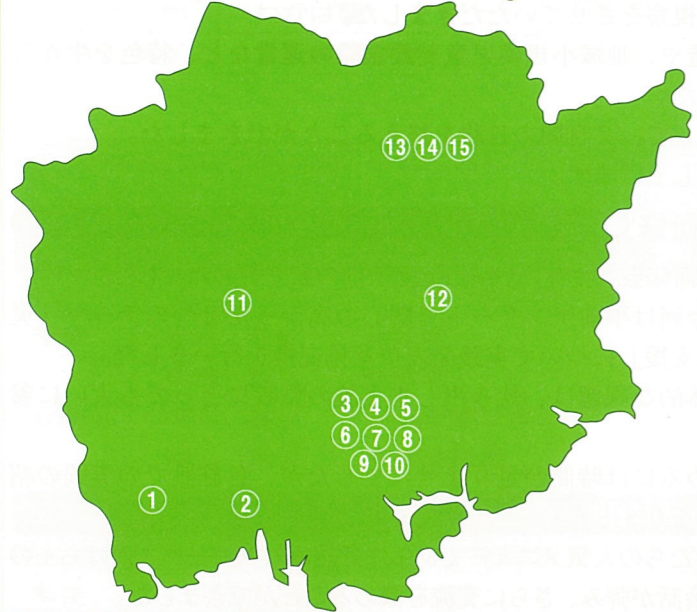
## ○【平成26年度 岡養新任職員研修会】○

平成26年6月24日(火)、『岡山県児童養護施設等新任職員研修会』がきらめきプラザを会場に開催され、13施設27名の新任職員が参加しました。午前中は、南野育成園理事長の叶原土筆先生を講師にお招きし、ご講義いただきました。児童自立支援施設において夫婦小舎で長年にわたって子どもたちと共に暮らしてきた実体験を基に、児童福祉に携わる者として重要なポイントについて話していただきました。午後からはグループワークを行い、今後の仕事に向かう上で大切なことや姿勢について、振り返りや気づきの絶好の機会となった研修会となりました。





# 岡山県児童養護施設等協議会 施設紹介



## ②玉島学園

倉敷市玉島長尾3729  
TEL : 086-525-2020  
FAX : 086-525-0404  
施設長 田邊 弘



○学園の沿革  
・昭和32年4月、岡山県立成徳学校内に「県立操南学園」として併設される。  
・昭和37年8月29日、「県立玉島学園」と改称し、現在地に移転する。  
・昭和58年4月、社会福祉法人恵聖会に施設の管理運営を委託される。  
・平成16年4月、小規模グループによるユニットケアを開始する。  
・平成23年4月、現在の法人に施設の管理、運営のすべてを移譲され、今日にいたる。

○養育目標  
・人間性豊かな子 ・心身ともにたくましい子 ・健全な社会人として生きていける子  
JR新倉敷駅より北に2km、山陽自動車道 玉島インターより西に1km、くらしき作陽大学のすぐ北、自然あふれる所にあります。  
11月30日には、学園行事の「お茶会とあかいやねのつどい」があります。参加よろしくお祈りします。



## ①悲眼院

笠岡市走出1303  
TEL : 0865-65-0118  
FAX : 0865-65-0522  
施設長 高橋 昌文



悲眼院は自然豊かな山間にある大舎制の施設です。大舎制ではありますが、子どもたちはそれぞれ担当職員と一緒に少人数の居室で生活しています。家庭的な温かさと恵まれた自然環境の中で、規則正しい生活や、季節の行事を通して年齢、発達に応じた自立ができるよう、個々の職員が色々な立場から支援しています。

また、上でも触れておりますように、当院では、担当職員は子どもたちと共に寝起きをしています。そうした心の通う生活を通して、豊かな情緒を養い、これからの生活に明るい希望や勇気をもてるよう、大人と子どもと一緒に生活を営んでいます。



## ③津島児童学院

岡山市北区いずみ町3-12  
TEL : 086-252-2185  
FAX : 086-256-8040  
施設長 黒田みき子



津島児童学院は昭和37年に県立として開設し、平成23年に旭川荘に移譲となりました。施設名称にある「情緒障害児短期治療施設」とは、何らかの心理的援助を必要とする子どもたちに、医療・心理・生活・教育の面から支援を行う施設です。子どもたちが安心し、職員や学校の先生と信頼関係を築きながら、それぞれの目標に向かって頑張れるよう、支援を行っております。また、司法書士の方やCAP（暴力防止／人権教育プログラム）の方などを招いて、施設で生活をしながら社会規範の教育にも力を入れています。単調になりがちな施設生活ではありますが、季節毎のイベントを催し、子どもたちが施設生活や自分の目標へのモチベーションを保持できるように努めています。



## ④旭川乳児院

岡山市北区祇園866  
TEL : 086-275-4308  
FAX : 086-275-6641  
施設長 平岡 文恵



旭川乳児院は昭和32年に開設されました。結核患者のいる家庭から乳児を守り育てたいとの趣旨で、当初より医療福祉の発想で設立されています。50年以上経過し、地域社会の要請に応えるべく努力をしてきました。現在では、社会的な要因で入所している乳幼児がほとんどです。

ここ数年は家庭に帰れることに重きをおいて、家庭支援や個別支援を展開してきました。それまでの間、旭川乳児院で生活するのですから、大人との安定した信頼関係を築いてもらおうと、愛着形成に力を注いでいます。大人を信じる力がその子どもさんに培われれば、宝を持つこととなります。次に出会う大人との関係性、信頼に満ちたものになります。

『乳児院はもうひとつの赤ちゃんのお家』となるよう、大切におあずかりします。



## ⑥南野育成園

岡山市北区北長瀬表町2-14-25  
TEL : 086-241-8018  
FAX : 086-241-2819  
施設長 樋口 俊司



本園は、本園の定員64名、地域小規模児童養護施設定員6名の合計70名定員の施設です。職員は住み込み勤務を基本としており、平成19年からの地域小規模児童養護施設（男子ホーム）に加えて、平成25年度から本体施設の敷地内に小規模グループケア（女子ホーム）を実施しております。

本体施設においては、生活集団の規模を最大12名までとし、食事作りは毎朝、土・日をグループで行うなど、大舎制の弊害を極力排除することとしています。

両ホームにおいては、各2名の職員の住み込みとし、特に食事については食材の買出しから、調理一切を担当職員で行っており、将来の施設の小規模化に向けての取り組みとしています。



## ⑤岡山市善隣館

岡山市中区西川原176  
TEL : 086-272-2798  
FAX : 086-272-2969  
施設長 三宅 嗣朗



「日本三大公園」である後楽園の北東1.5kmのところにあります。所在地が西川原というだけあって、かつては旭川が流れていました。江戸時代に池田の殿様が後楽園に水を引くため、川の流れを変えたそうです。写真にあるように地域との交流に力を入れています。余暇・ピアノ・園芸・抱っこ、そして学習ボランティアなど年間1,000人以上の地域の方が子どもたちとの交流を楽しみに来てくれています。



## ⑦岡山聖園子供の家

岡山市北区天神町6-34  
TEL : 086-222-4806  
FAX : 086-222-4808  
施設長 則武 直美



岡山市中心部にある定員59名の児童養護施設で、本館と敷地内に別館（小規模グループケア1ヶ所）があります。カトリックの価値観に従って、①感謝する心を育てる②自己肯定感を育む③目に見えないものを大切に、の3点に重点をおいて支援を行っています。小学生以上は女の子のみですが、園内で国語教室・音楽教室・英語教室に参加したり、ドッジボールクラブを作って試合に出たりと活発に過ごしています。

昨年、イサム・ノグチ設計の遊具（プレイスカulpture）が園庭に設置されました。子どもたちは、上に登ったり下をくぐったり自由な発想で楽しく遊んでいます。





### ⑧若松園

岡山市中区海吉206番地  
TEL: 086-277-2261  
FAX: 086-276-6925  
施設長 高月 和紘



若松園は岡山市を流れる百間川河畔の丘陵地にあり、1936(昭和11)年に児童虐待防止法に基づいて開設された「育児院若松園」が前身となり、現在、創立77周年の歴史を有しています。

定員は70名で、3つの独立した居住棟(中舎)と園内における小規模グループケア1棟を本園敷地内で運営し、更に地域における小規模ケア(グループホーム)1棟を平成2年から継続して実施してきております。

施設内では「セカンドステップ」「CAP子どもワークショップ」等の取り組みに加え、平成26年度には「バレーボールクラブ」の中国地区児童養護施設児童球技大会へのチーム出場、「うらじゃクラブ」の岡山もたらうまつりでのパレード参加など、園内クラブ活動がとて活発です。



### ⑨新天地育児院

岡山市中区門田本町4-2-30  
TEL: 086-272-1353  
FAX: 086-272-3911  
施設長 梅里 伸正



●“児童は人として尊ばれ、社会の一員として重んぜられ、よい環境のなかで育てられる” —この児童憲章の精神のもと、聖書に謳われている「新しい天と新しい地」の実現を目的としています。

●安全かつ健康的な環境づくりに留意し、家庭的雰囲気の中でキリストの教え(隣人愛—相手の立場に立って考え行動する)に基づき、自立のための支援を行うことを目標としています。

●長屋式小舎制のもとに、家庭的な雰囲気を大切にしたい縦割りの構成をとり、豊かな人間形成を目指しています。



### ⑫天心寮

赤磐市町苅田25番地  
TEL: 086-957-2010  
FAX: 086-957-3788  
施設長 山本 兼士



岡山駅より北の方へ約20km、小高い山々と田園風景に囲まれた、自然豊かな赤磐市南部に、天心寮は位置します。岡山といえば、桃、ブドウに代表されるフルーツ王国、寮近辺はお米だけでなく、桃やブドウの一大産地となっています。子供たちが学ぶ小学校は、直線距離約60mの所に、中学校は(自転車で)約2kmの距離に、1年を通して移り変わる自然の風景を目や耳で、寒暖を肌でと、5感で感じながら楽しく、トラブルを交えながら通っています。そのような情景の中、定員67名(H26.8月現在48名)、大舎制の天心寮はあります。



### ⑬わかば園

津山市二宮128  
TEL: 0868-28-0610  
FAX: 0868-28-6620  
施設長 松田浩一郎



当園は、岡山県の北部城下町の津山市西部に位置し、眼下に吉井川を見下ろす小高い丘の上で日々子ども達と生活を共にしながら自立を支援しています。金光教祖立教90年の公益事業として始まった当園は、「お世話になるすべてに感謝し、思いやりの心を持って、世の中のお役に立つ人になる」との思いを子ども達、職員みんなが実現すべく取り組んでいます。その一つとして、鼓笛バンドの演奏があります。みんなに喜んでもらえるような、元気になってもらえるような演奏を目指して子ども職員一丸となって日々練習に励んでいます。時には金光町内のパレード参加、時には老人ホームへの慰問等と演奏の場を広げています。



### ⑩岡山県立成徳学校

岡山市中区平井2丁目2572番地  
TEL: 086-272-1268・1269  
FAX: 086-272-0205  
施設長 田野洋一郎



岡山県立成徳学校は明治21年に全国で4番目に設立された感化院としてスタートし、現在では『少年の丘』の愛称で地域から親しまれている児童自立支援施設です。職員夫婦ともう1名の職員が入所児童と共に暮らす「小舎夫婦制」を基盤に、施設内に岡山市立緑ヶ丘中学校・平井小学校分教室を併設し、生活支援、学習支援、作業支援、及び医療支援等を行っています。平成25年度には、児童自立支援施設における野球の全国大会で4回目の優勝を果たし、また柔道やバレーボール、家庭科作品製作、茶道、木工、陶芸、美術、和太鼓、新聞製作、音楽演奏等の運動・文化活動にも積極的に取り組んでいます。



### ⑪みのり園

加賀郡吉備中央町豊野399  
TEL: 0866-54-1028  
FAX: 0866-54-1348  
施設長 小出 叡



岡山県の中央部、  
標高330mの広大なひろがりの恵まれた環境

美しい山々の緑と輝く太陽 澄んだ空気

のびのびと  
豊かな心を育てよう

### ⑭立正青葉学園

津山市西寺町77番地  
TEL: 0868-22-2317  
FAX: 0868-22-2319  
施設長 岸本 延子



立正青葉学園は、岡山県北部の津山市にあります。昭和30年より児童養護施設を開設し、来年度で60周年を迎えます。定員は30名で平成16年より、道路を隔てた敷地内にグループホームを開設し、それを機に本園を3つのユニットに分けて合計4つのユニットで生活をしています。

施設内には、ワクワク棟という音楽棟があり、バンド練習やダンス練習ができるようになっています。音楽や踊りが大好きな子どもが楽しく一生懸命練習をしています。学園祭やクリスマス会にはカッコいいステージを見せてくれます。また、習い事も奨励しており、幼児さんもスイミングに通っています。子ども達がひとりひとりやりがいを見つけ、自信につながればと思います。

毎日の食事に関しても、各ユニットの台所で調理員が作っており、今年度よりセレクト献立を導入しました。少しでも子どもの生活に合わせた食事の提供ができるように試行錯誤をしています。料理の大好きな子ども達は調理の方と一緒に並んでご飯を作っています。



学園祭でダンスを披露

### ⑮津山二葉園

津山市林田1695-3  
TEL: 0868-24-1200  
FAX: 0868-24-1201  
施設長 吉村 惣子



津山二葉園は津山の中心地、丹後山の頂上にあり、辺りはとても静かでも多くの自然に囲まれており、穏やかな環境の中、子どもたちは生活を送っています。津山二葉園の基本理念として「自分のことは自分でできる人」「強く明るくたくましく生活力のある人」「社会に迷惑をかけない人」を方針に職員一同指導しています。子どもたちが楽しみにしている行事に夏祭り・クリスマス会があります。社会福祉法人「菜花の里」としての行事なので、幼児から高齢者まで一同に集い、楽しい時を共有します。毎日の食事では、その季節の旬の食材を使用し調理しています。適温適食の充実、朝食にはバイキング、昼食にはランチメニューを取り入れるなど、選択給食の拡大にも力を入れています。





## 石井十次賞に南野育成園

今年で没後100年を迎える「児童福祉の父」石井十次（1865～1914年）の精神と実践を継承するため、児童福祉事業に優れた団体・個人を表彰する第23回石井十次賞を社会福祉法人・南野育成園（叶原土筆理事長）が受賞しました。

同賞は、孤児救済を自らの天職と定め、五十年の生涯を捧げた児童社会福祉事業の先駆者 石井十次の人類愛と社会奉仕の崇高な精神を永遠に継承し、愛の心・思いやりの心を全国に広めるために制定され、宮崎県高鍋町の公益財団法人・石井十次顕彰会が主催するものです。



石井十次ゆかりの地である、岡山県の施設が受賞するのは初めてのことです。

南野育成園後援会会長・黒住教教主、黒住宗晴教主様のおことばをお借りするなら「何が評価されたかと言うと、児童福祉一筋に身をもってその人生を歩んでこられた、叶原現理事長に伝統のある南野育成園のよさを一層引き出してもらったことによる」ということだと思います。

本当におめでとうございます。

## オレンジリボンキャンペーン啓発グッズのご紹介

岡山市では、オレンジリボン運動の趣旨に賛同して下さる方々にご寄付を頂き、啓発グッズを使用することでオレンジリボンの輪を拡げていっています。今後も、虐待をなくしていこう、子どもたちが幸せに暮らせるようにしていこうという願いを持ち、皆でオレンジリボン運動を支援していきたいと思ひます。

### オレンジリボンTシャツ



男女兼用サイズ  
S/M/L/XL

### キャンペーンソングCD



中西圭三さん  
作詞・作曲の「Here I am」

### 車体用マグネット



車体用マグネット  
14cm×16cm

### 缶バッジ



黄色  
紺色  
白色  
オレンジ  
黒色

全部で5種類  
直径3cm

### デニムバッグ



デニム地のエコバッグ  
30cm×20cm マチ12cm

### トートバッグ



A4資料がたっぷり縦に入る持ち運びに便利なバッグ

### マフラータオル



首に巻けるマフラータオル  
21cm×110cm

## 編集後記

夏休みになり、子どもたちの元気な声が一日中響き渡っていますね。職員の皆さんも、暑さに負けずパワー全開で乗り切っていることと思います。子どもたちにとっては楽しい長期休みでしょうが、2学期にむけた準備も忘れずしっかりしていきたいものです。

今号では皆様のご協力を頂き、改めて各施設をご紹

介いたしました。岡養等の仲間として今後も団結していきましょう。また、今回は児童関連事業の記事がありませんでしたので、次号では子どもたちの活動をたっぷりご紹介したいと思います。乞うご期待下さい。

平成26年 8月

「広報誌おかよう」制作スタッフ一同